ふくふる0920号

＼野菜づくりでふくいの食を豊かに／

Agri Note 菜園

アグリ ノート菜園情報

JA福井県

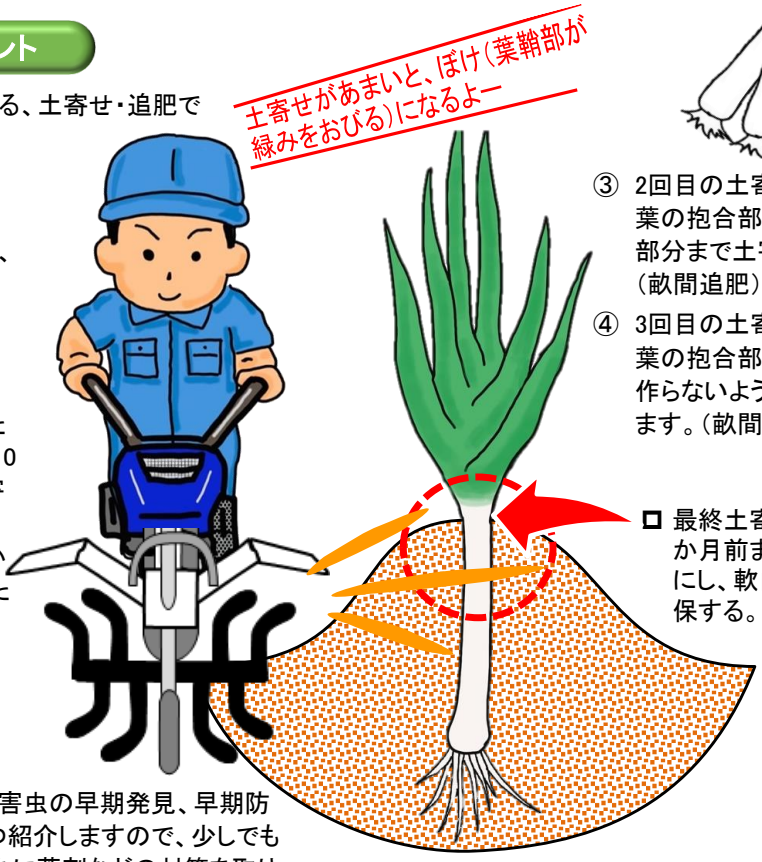
暑い時期も通り過ぎ、秋らしい季節になってきました。秋といえば、「スポーツの秋」「読書の秋」と様々なものがありますが、「食欲の秋」が一番の鉄板であると考えています。今回は、食欲を増進させる「白ネギ」の栽培ポイントを紹介していきます。取れたてのネギを収穫し、存分に秋を楽しみましょう。

1. 白ネギの栽培について

ネギは土寄せや追肥の管理がとても重要です。特に追肥して土寄せを行うことで、ネギの白い部分を伸ばすことが出来ます。美味しいネギを収穫出来るように栽培の方法をマスターしていきましょう。

2. 白ネギ栽培のポイント

ネギの栽培で重要とされている、土寄せ・追肥ですが、定植後に4回行います。



【土寄せ、追肥】

① 定植後20日頃
株元に根付け肥を施用し、ネギが曲がらないように、両側から丁寧に土寄せを行います。

② 1回目の土寄せの30日後
草丈が50cm程度になるため、葉の抱合部(首)より10cm程度下の部分まで土寄せを行います。
高温時に抱合部に土がかかると、病気が発生するため注意してください。

③ 2回目の土寄せの20～25日後
葉の抱合部より5cm程度下の部分まで土寄せを行います。(畝間追肥)

④ 3回目の土寄せの20～25日後
葉の抱合部より上まで隙間を作らないように土寄せを行います。(畝間追肥)

□ 最終土寄せは収穫の一か月前までに終えるようにし、軟白部をしっかり確保する。

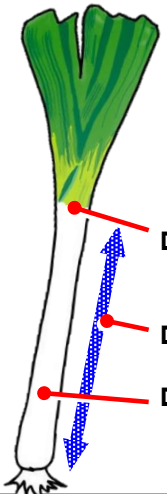
3. 病害虫対策

ネギの栽培で大切なのは、病害虫の早期発見、早期防除です。代表的な病害虫を3つ紹介しますので、少しでも当てはまるものがあれば、直ちに薬剤などの対策を取りましょう！

- ネギアザミウマ
  成虫や幼虫が葉の汁を吸い、加害箇所はかすり状や白い斑点になります。深刻になると、葉が白くなり、枯死を引き起こします。
- ネギハモグリバエ
  幼虫が葉の内部を食害して、その部分が細長い白い筋になり、最終的には枯死してしまいます。
- さび病
  古い葉からオレンジ色の小さい斑点が生じる病気です。

ネギは葉に薬剤が付きにくいため、展着剤を使用して、株全体に散布することが必要です。

4. 収穫



4回目の土寄せから30～40日後を目途に収穫を行います。

【良い姿】

□ 葉身部との色の区切りがはっきりしている。

□ 軟白部の長さ30cm以上が目安

□ 軟白部がよくしまって長く、肌光沢がある。

今回のアグリノート菜園は、坂井営農経済センター(園芸振興課)長谷川が担当しました。